

白井駅周辺地区における土地活用に関するマーケットサウンディング（第2回） に関する対話結果の公表について

令和8年1月16日
白井市未来創造戦略室

1. マーケットサウンディング実施の経緯

白井駅周辺地区は、千葉ニュータウン事業により首都圏のベッドタウンとして整備され、商業施設などが並ぶ地域ですが、まちびらきから40年以上が経過し、施設が老朽化・陳腐化していることや、近隣に大型施設が立地したことなどにより地域の賑わいが喪失するなど、様々な課題が生じています。そのため、「白井駅周辺地区まちづくり協議会」が令和4年に設立され、地区的地権者と市において本地区の将来像について話し合いを行ってきました。

令和6年度には、当協議会の範囲（約12,000m²）で第1回サウンディング型市場調査を実施し、中心都市拠点である白井駅において、都市機能を集約し、事業範囲を拡大することは、合意形成に時間がかかるものの、事業者からの提案自由度が上がることを把握しました。

それを踏まえ、令和6年度の行政経営戦略会議において「白井駅周辺地区において市有地や行政機能を包含し、整備の検討を行うことの可否」について付議し、白井駅南口における整備検討範囲の拡大（約51,000m²）を決定しています。

今回のマーケットサウンディングは、整備検討範囲を広げた場合の市場性を改めて確認しつつ、今後予定している事業者（事業検討パートナー）募集に向けたアイデアの収集や、民間事業者がより参入しやすい公募条件について整理することを目的に実施しました。

2. サウンディングの対象地

千葉県白井市堀込1丁目610-4 外50筆

3. サウンディングの実施スケジュール

令和7年 9月12日（金）	サウンディング実施要領の公表
令和7年12月 5日（金）、16日（火）	サウンディング（対話）の実施
令和8年 1月16日（金）	サウンディング結果概要の公表

4. サウンディングの参加者及び結果概要

3者 詳細は別紙のとおり

5. サウンディング結果を踏まえた今後の予定

いただいた提案内容を受け、「白井駅周辺地区まちづくり協議会」と協議を行い、今後の方針性について検討します。